展開案（2 / 3 時目）＜高等学校＞

- ◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かそう。
- ◆本時の展開（※）については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりして、スムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めさせたりすることもできます）
- * ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。
- * 4人グループには4色（赤、青、黄、緑）のシール（1色当たり 1人4枚×学級の人数）を準備します。5人グループには、更に追加の1色のシール（16枚×グループの数）を準備します。

学習活動	対	指導上の留意点
(授業前)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープニングスライドを提示しておく。 ・ 交流活動ができる座席配置にしておく。 ・ 前時のワークシートや振り返りシートをまとめたもの（ファイル等）を返却し、自分の「強み」や学習を通じた気付き等を思い出すことができるようにする。 ・ 授業がスムーズに流れるように、前時で使用した「3時間のめあて」「『強み』の定義」「『強み』を理解するポイント」「ワークシートの回し方」「話し方と聴き方のポイント」を黒板に掲示しておく。
1 前時の活動を振り返る。 (2分)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のワークシートや振り返りシートに目を通す時間を設けることにより、前時の振り返りを促し、新しいグループの親和性を高めることができるようにする。 <p>※ 前時の授業写真を提示したり生徒の振り返りシートの記述等を紹介したりすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげたり学習への意欲を高めたりする。</p>
2 本時のめあてを知る。 (1分)	3~5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「本時の流れ」を黒板に掲示することで、ふだん取り扱わない学習内容への見通しをもつことにより、安心して活動に取り組むことができるようにする。
3 「星☆いくつ」の交流活動 (4人*)を行う。(13分) (1) グループの友達に当てはまるものを4つ選んでシールを貼る。活動①	6~10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席ごとにシールの色を指定することにより、スムーズに活動を進めることができるようにする。 <p>※ シールを貼る代わりに、色を塗ったり名前を書いたりしてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己肯定感が低い生徒でも安心して活動できるように、まず、友達に当てはまるものにシールを貼るように指示する。 ・ 生徒が活動時間の見通しをもつことができるように、提示した

		<p>時間の10秒ほど前に声を掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期待感をもたせるために、3人目まで終了したら、ワークシートを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。 ・友達にシールを貼ってもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」を実感することができるようにする。 ・前時で使用した掲示物を示して「話し方と聴き方のポイント」を確認することにより、安心できる雰囲気の中で互いの思いや考えを伝え合うことができるようにする。 ・友達にシールを貼ってもらった直後の感想を伝え合うことにより、グループの親和性を高めることができるようにする。 <p>※ 生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。</p>
(2) 自分に当てはまるものを4つ選んでシールを貼る。活動②	11	
(3) 自分の「強み」だと思うものを3つ選び丸印を付ける。活動③	12	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて、自分の「強み」と思うものを選ぶ活動を設けることにより、自己決定を促し、次の交流活動につなげやすくする。
4 「Step Up Webbing ～解決への一歩～」の交流活動(4人*)を行う。(24分)	13-14	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動と活動の方法が似ていることを伝えることにより、抵抗なく取り組むことができるようにする。 ・「星☆いくつ」の交流活動で選んだ「強み」を生かす活動を行うことを伝えることにより、活動に取り組む意欲を高めることができるようにする。
(1) 自分が苦手なことや困っていることの中で、解決したいと思っていることを1つ書く。活動①	15	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が苦手だと思っていることを複数例示することにより、書きやすい雰囲気づくりをする。
(2) 友達が解決したいと思っていることを解決するためのアイデアを書く。活動②	16~21	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、アイデアを考える際のポイントを例示することにより、アイデアを書くことへの見通しをもちやすくする。 ・解決するためのアイデアを前向きに考えられるような声掛けをする。 ・次に、これまでの活動で見付けた友達の「強み」を参考にして、解決するためのアイデアを書くように助言する。 ・期待感をもたせるために、3人目まで終了したら、ワークシートを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。 ・友達にアイデアを書いてもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」が生かせそうなことに気付くことができるようにする。 <p>※ 生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。</p>

<p>(3) 友達を書いてくれたアイデアを見て、これからやってみたいことや頑張ってみたいことを書く。</p> <p>活動③</p>	22	<p>ードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のアイデアを参考にしながら、自分が頑張りたいことを自己決定させることにより、自分の「強み」の生かし方を考えることができるようにする。
<p>(4) 自分が解決するために頑張りたいことを伝え合う。活動④</p>	23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝え方の話型を示すことにより、活動がスムーズに行われるようにする。 ・ 自分の「強み」を生かして頑張りたいことを伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を生かしてみたいという意欲を高めることができるようにする。
<p>5 本時の活動を振り返る。 (9分)</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) グループで気づきを伝え合う。</p>	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板に掲示した「本時の流れ」を確認することにより、学習した内容を具体的に振り返ることができるようにする。 ・ 気付いたことや感じたことをグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。 ・ 全体で出た感想を板書し、振り返る。 <p>※ 授業全体を通した生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックしたり、学級や生徒の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けたりすることにより、学習内容に対する必要性と有用性を感じることができるようにする。</p>
<p>6 次時の活動を知る。(1分)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の時間も「強み」について学習することを伝え、興味や関心を継続できるようにする。

- ◆評価の視点：「『強み』」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができたか。

◆板書計画

<p>3時間のめあて</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分や友達の「強み」を知ろう ② 自分や友達の「強み」を生かそう ③ 自分や友達の「強み」を生かしているところ 	<p>「強み」の定義 =人の強み、強み、お強、さらだ</p> <p>人に重っているもの 人にあるもの 人がもっているもの</p>	<p>「強み」を理解するポイント</p> <p>ポジティブ(プラス)だと思えることはかりでなく、ネガティブ(マイナス)に思えることも含めて、「強み」として考える</p>	<p>ワークシートの回し方</p>	<p>◆学習の気づきや感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 								
<p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分や友達の「強み」を褒めつける ② 褒めた「強み」を生かして、友達の課題を解決するアイデアを考え書く ③ 褒めた「強み」を生かして、自分の課題の解決策を考え書く 			<table border="1"> <tr> <td>【話し方のポイント】</td> <td>【聴き方のポイント】</td> </tr> <tr> <td>① 相手を見る</td> <td>① 相手を見る</td> </tr> <tr> <td>② 聞こえる声で話す</td> <td>② うなずきながら聴く</td> </tr> <tr> <td>③ はっきり話す</td> <td>③ 最後まで聴く</td> </tr> </table> <p>(↑ 掲示必要時のみ使用)</p>		【話し方のポイント】	【聴き方のポイント】	① 相手を見る	① 相手を見る	② 聞こえる声で話す	② うなずきながら聴く	③ はっきり話す	③ 最後まで聴く
【話し方のポイント】	【聴き方のポイント】											
① 相手を見る	① 相手を見る											
② 聞こえる声で話す	② うなずきながら聴く											
③ はっきり話す	③ 最後まで聴く											

いつでも確認することができるように、「3時間のめあて」「本時の流れ」「『強み』の定義」「『強み』を理解するポイント」を提示しておきます。

必要に応じて確認することができるように、「ワークシートの回し方」「話し方と聴き方のポイント」を提示します。

振り返りを全体で共有するために、生徒の発言を板書(・)します。

◆授業前の取り扱い

* 交流活動におけるグループの人数は4人編成が望ましいが、4人にならない場合は、5人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、3人回したところで終了する。

- ・ グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ・ 生徒が学習を振り返ることができるようにするため、ワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイル等にまとめて、生徒に配付する。

◆授業後の取組例

- ・ 学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
- ・ 進学や就職に向けた自己分析や自己PR資料として活用する。
- ・ 行事と関連させる。